



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和2年12月第3回市長定例記者会見

- ・日時 令和2年12月22日(火)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 行政手続きにおける認印の押印省略を進めます(資料1)
- 2 コロナ感染者への偏見・差別のない社会を目指し
「シトラスリボンプロジェクト」へ賛同します(資料2)
- 3 令和2年度渋川市PR動画コンテストに45作品の応募がありました(資料3)

その他資料提供

- ・令和3年の「初市」を1月12日(火)に開催します(資料4)

○次回開催予定

日時：令和2年12月28日(月)午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
12月21日(月)	10:00 終了後	第6回市議会臨時会 議員全員協議会	議場 大会議室	議会事務局 議会事務局
	15:00	「共生社会実現のまち 渋川市」ラッピングバスお披露目式	渋川駅前広場	政策創造課
12月22日(火)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
12月23日(水)	9:00	新年度予算査定	秘書室会議室	財務課
	16:00	広域組合新年度予算査定	広域組合大会議室	広域組合
12月24日(木)	13:00	新年度予算査定	秘書室会議室	財務課
12月25日(金)	9:00	新年度予算査定	秘書室会議室	財務課
12月26日(土)				
12月27日(日)				
12月28日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	15:00	市長年末あいさつ	大会議室	人事課

資料1

担当：総合政策部政策創造課 課長 生方 清三郎 電話0279-25-8414 内線2420

行政手続きにおける認印の押印省略を進めます

渋川市では、市民サービスの向上、行政手続きの簡素化及び業務の効率化を図るため、行政手続きにおける申請書等のうち、約600件について、認印の押印を省略することができるように見直しを進めます。

なお、国が進める押印廃止や電子署名などデジタル化政策等の動向を注視しながら、今後も行政手続きの簡素化等の検討を進めます。

1 概 要

市では、国や県における行政手続きの押印見直しの方針を受け、行政手続きにおける個人の押印義務付けの状況調査を行いました。

調査の結果を踏まえ、個人の認印の押印を必要とする取扱いをしているもののうち、市の条例、規則又は要領等で押印を根拠としているもの及び特に明確な根拠がない申請書等約600件について、認印の押印を省略することができるように見直しを進めることとしました。

2 見直しの方針

行政手続きにおける申請書等において、個人の署名がある場合には、認印の押印を省略することができるように見直します（見直しの対象外を除く）。

3 見直しの対象

市の条例、規則又は要領等で押印を根拠としているもの及び特に明確な根拠がないもの。

ただし、令和2年12月18日付で内閣府から、地方公共団体における押印見直しマニュアルが示されましたので、順次対応していきます。

<主なもの>

- ・子どものための教育・保育給付認定申請書兼保育利用申込書
- ・敬老祝金支給申請書
- ・福祉医療費受給資格者証交付申請書
- ・日常生活用具給付申請書 など

4 見直しの対象外

- (1) 国又は県の法令によるもの、契約に係るもの、補助金に係るもの及び市の内部書類に係るもの
- (2) 押印者が法人のもの

5 実施時期 令和3年1月から年度内をめどに、順次進めていきます。

6 その他

国では、認印を廃止する方針を示していますが、現時点では行政手続きにおいて認印の押印を要するものもあることから、市民に分かりやすい周知を行います。

参考

押印義務付けの状況調査結果

押印が必要な件数 約1,300件	件数	備考
	約600件	直ちに取り組むもの
	約300件	市の補助金に係るもので、順次検討するもの
	約400件	国の法令等の改正に合わせ取り組むもの

※表中の押印が必要な件数約1,300件には、契約書、入札・見積り・契約締結・契約代金の請求受領等に係るもの及び市の内部書類は、調査の対象外のため含まない。

資料2

担当：総合政策部政策創造課 課長 生方 清三郎 電話0279-22-2396 内線2420

コロナ感染者への偏見・差別のない社会を目指し 「シトラスリボンプロジェクト」へ賛同します

渋川市では、「共生社会実現のまち 渋川市」推進事業の一環として、コロナによる差別や偏見をなくすため、シトラスリボンプロジェクトへ賛同し、啓発活動に取り組みます。

1 目 的

新型コロナウイルス感染症の拡大は、健康で快適な生活を脅かすだけでなく、医療従事者や感染者への差別や偏見を引き起こしています。

市では、こうした差別や偏見をなくし、誰もが“自分らしく”、“互いに寄り添い”、“共に生きる”社会を創るため、「共生社会実現のまち 渋川市」推進事業の一環として、シトラスリボンプロジェクトに賛同し、運動を広めていきます。

2 取組内容

市ホームページに、プロジェクトを推進していることや、リボンの作り方を掲載します。また、プロジェクトの趣旨や人権に関する相談窓口を記載したチラシを作成し、庁内各部署に掲示して周知します。「共生社会実現のまち 渋川市」推進共同宣言団体へもチラシを提供し、賛同を依頼します。チラシは、市内小中学校や施設等へも提供し、啓発を広めます。

参考

シトラスリボンプロジェクトとは

コロナ禍で生まれた差別や偏見を耳にした愛媛県の有志が作ったプロジェクトで、柑橘類にちなんだシトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表すことで、感染拡大や感染者への差別、偏見を防ぎ、みんなが心から暮らしやすい社会を目指しています。

共生社会実現のまち 渋川市

みんなで広げよう、 シトラスリボンプロジェクト。



共生社会実現のまち
渋川市



Citrus Ribbon
PROJECT

コロナによる差別や偏見をなくそう

相談窓口

みんなの人権110番（全国共通人権相談ダイヤル）

《電話》0570-003-110 平日8:30~17:15

子どもの人権110番

《電話》0120-007-110 平日8:30~17:15

外国語人権相談ダイヤル

Foreign-language Human Rights Hotline

《電話》0570-090-911 平日9:00~17:00

人権相談窓口（群馬県）

《電話》027-897-2687 平日8:30~17:15

シトラスリボンプロジェクトとは

コロナ禍で生まれた差別や偏見を耳にした愛媛県の有志が作ったプロジェクト。

シトラス色のリボンや専用のロゴを身につけたり掲示したりして、「ただいま」「おかえり」と言いあえる思いやりのある気持ちを広めようというものです。

「地域」「家庭」「職場（学校）」を意味する「三つの輪」を作ればリボンのできあがり。

身につけたり、玄関などに掲示したりしてみてください。温かい言葉を贈りあうのもよいかもしれません。

渋川市はシトラスリボンプロジェクトに賛同しています。

シトラスリボンプロジェクト <https://citrus-ribbon.com/>

シトラスリボンの作り方



①図のように左側の紐の中間地点にでっばりをつくる
②そのでっばりに下半分の③上半分の紐で輪を作り
紐を上から引っ掛ける 右側の輪に通す

④先程通した輪で上の残っている紐を通す
⑤通したところを折り返すように紐を通す
⑥所を整えたら完成

(画像提供：松山大学)

動画でもシトラスリボンの作り方を紹介しています。(動画作成：TOMO Creative)

<https://www.youtube.com/watch?v=nE9AlwWJZ2Q>



資料3

担当：市長戦略部秘書室 室長 小野 宏伸 電話0279-22-2182 内線2411

令和2年度渋川市PR動画コンテストに45作品の応募がありました

1 事業概要

市では、交流人口の拡大や移住促進を目的に、映像による渋川市の魅力の発信を進めています。今年度から新たに、市民等が作成したPR動画の募集を行い、39人から45作品の応募がありました。

今後は、コンテスト形式により審査を行い、入賞作品を渋川市のPR動画として活用します。

なお、本事業は、応募者に本市の魅力を再発見する機会を創出するとともに、郷土愛の醸成に結びつけることを目的として実施したものです。

2 募集内容

- (1) 募集作品 渋川市の魅力が伝わる動画であればジャンルは問いません
(風景、イベント、観光資源等、幅広いテーマを募集します)
- (2) 応募資格 個人、団体、プロ・アマチュア、居住地等を問わず、誰でも応募可能とします
※1人3作品まで
- (3) 募集期間 令和2年8月3日(月)～11月30日(月)
- (4) 作品規格 1作品当たり2分以内の映像作品とし、表現方法(実写、CGなど)及び撮影時期・場所を問いません
- (5) 賞 優秀賞5点(賞金2万円)

3 募集結果

- (1) 応募者数 39人(内訳は下記のとおり)

○年代・居住地別応募状況

(単位：人)

年代 \ 居住地	市内	県内	県外	合計
10代	23			23
20代	4		2(東京、千葉)	6
30代	1		1(東京)	2
40代				
50代	2			2
60代以上	3	3(前橋)		6
合計	33	3	3	39

※10代の23人には渋川青翠高等学校の生徒を含みます

(2) 応募作品数 45作品

○作品数別応募状況 (単位：人)

1 作品応募	3 5
2 作品応募	2
3 作品応募	2

4 今後のスケジュール

- (1) 12月～2月 審査(庁内審査及び観光・商工関係者による審査を予定)
- (2) 2月下旬 受賞者の発表

5 入賞作品の発表・活用

- (1) 入賞者及び作品は、令和3年2月に市ホームページで発表します
- (2) 入賞作品は、市公式YouTubeでの作品公開やイベント等での上映などによるシ
ティプロモーションに活用する予定です

6 問い合わせ先 秘書室広報戦略係 (TEL 0279-22-2182)

資料4

担当：産業観光部商工振興課 課長 牧 伸治 電話0279-22-2596 内線4890

令和3年の「初市」を1月12日(火)に開催します

初市は、古くからの伝統行事で、縁起物の達磨や繭玉飾り等の露天販売が行われます。地域の商業対策及び観光事業の一環としても実施されており、買い物客や見物客等で賑わうまつりです。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して実施されます。

- 1 日 時 令和3年1月12日(火) 午前11時～午後9時
- 2 会 場 新町五差路交差点から渋川郵便局前まで
※初市開催時間中は、上記区間が交通規制となります。詳細は、下記地図参照
- 3 主 催 渋川商工会議所（電話0279-25-1311）
- 4 その他 渋川市美術館の駐車場を初市臨時駐車場とします。

【案内図】

